

各位

上場会社名	MICS化学株式会社
代表者	代表取締役社長 三宅 利定
(コード番号	7899)
問合せ先責任者	取締役 管理部門長 伊藤 久美
(TEL	0561-39-1211)

## 第2四半期業績予想と実績との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年6月14日に公表した第2四半期業績予想について、差異が生じたのでお知らせいたします。また、通期業績予想についても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,350	30	32	17	3.24
今回修正予想(B)	1,309	15	25	7	1.47
増減額(B-A)	△40	△14	△6	△9	
増減率(%)	△3.0	△47.7	△21.1	△54.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年4月期第2四半期)	1,301	10	19	△7	△1.43

平成26年4月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,700	50	55	30	5.73
今回修正予想(B)	2,700	35	50	20	3.82
増減額(B-A)	—	△15	△5	△10	
増減率(%)	—	△30.0	△9.1	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成25年4月期)	2,568	22	43	29	5.59

平成26年4月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300	28	15	2.86
今回修正予想(B)	1,257	18	0	0.19
増減額(B-A)	△42	△9	△14	
増減率(%)	△3.3	△35.6	△93.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年4月期第2四半期)	1,255	22	△3	0.73

平成26年4月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,600	50	26	2.86
今回修正予想(B)	2,600	45	13	2.48
増減額(B-A)	—	△5	△13	
増減率(%)	—	△10.0	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成25年4月期)	2,471	48	35	6.79

#### 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済政策を背景に景気回復に向けた一定の動きが見られました。

しかしながら、消費税増税による将来的な影響や所得環境の不安、電気料金の他、食品や日用品の値上げ、新興国経済の成長鈍化や欧州経済低迷の長期化などが懸念され、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは「フィルミックス」シリーズによる多角的に市場をつかむ活動を継続中であり、食品分野での手詰め需要から自動給袋機向け需要への対応拡大や、非食品分野である医療用、産業用向けの、新たな需要を掘り起こす活動で販売の拡大に努めてまいりました。

しかしながら、今期注力しております5層三方袋(SBN)規格や深絞り用フィルムの拡販が当初見込の売上高の確保までに至らなかったため、売上高は期初予想を下回りました。

その結果、利益につきましては、売上が予想に届かなかったことと原材料価格高騰の一部が販売価格へ転嫁出来なかったことが影響し、営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ予想を下回りました。

通期予想につきましては、第2四半期累計期間の予想と実績との差異が生じ、通期に影響すると見込んだため修正することと致しました。

なお、個別業績予想についても、連結業績予想と同様の理由により修正することと致しました。

以上